



2009/9/17開催・月例セミナー

日本の年金資産運用の歴史

～20年の歴史に学ぶ知恵と将来への展望～

セミナーアンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社



「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

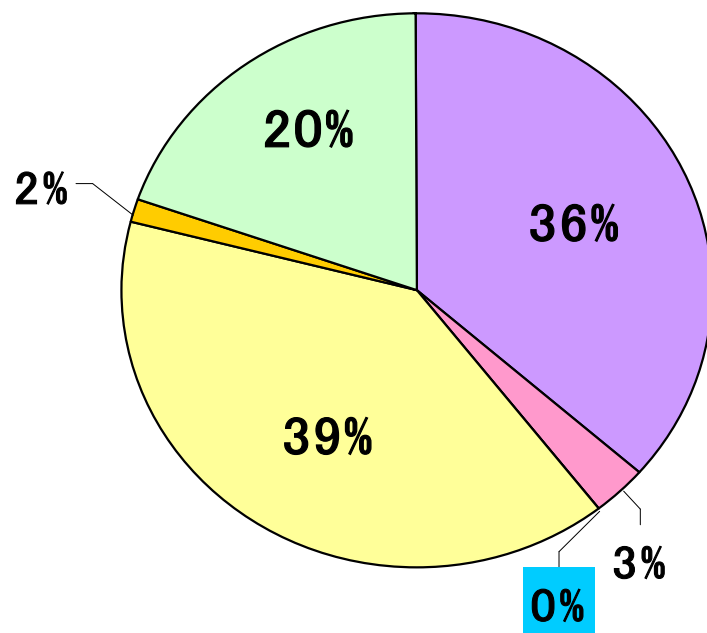
本セミナーにて、日本の企業年金の資産運用の変革のきっかけとあり方についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計107名
- ・アンケート回答者人数 計66名

回答率 : 61%

※小数点第一位以下切捨

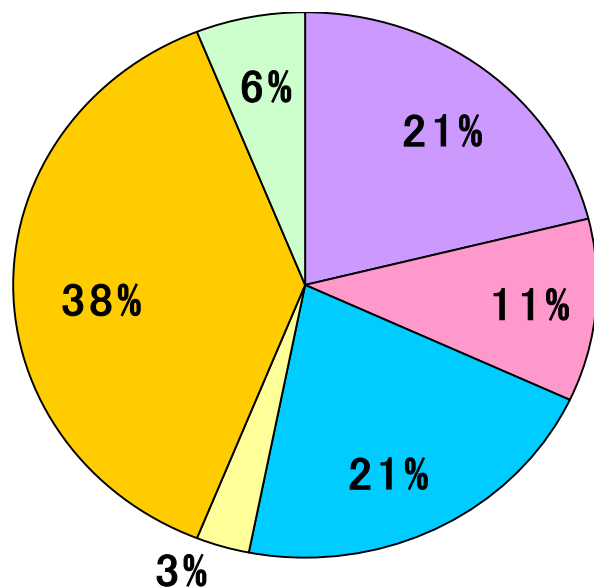
アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	24
②	2
③	0
④	26
⑤	1
⑥	13

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他

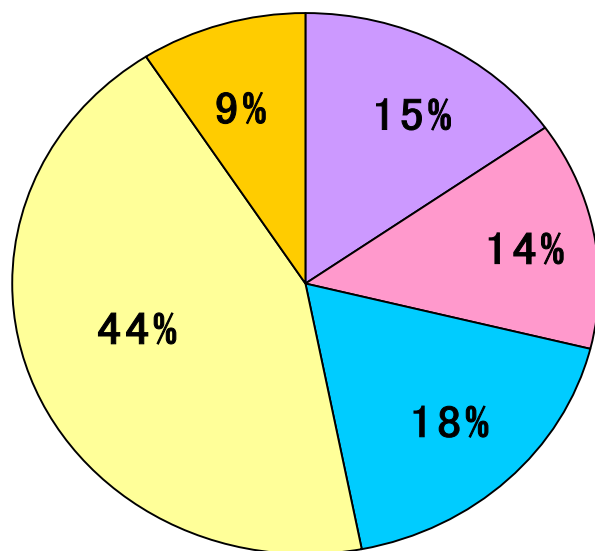
Q1 これまでの日本の企業年金の資産運用について、変革のきっかけになったものは、次のどれだとお考えでしょうか。一番大きな影響を与えたとお考えのものを、一つだけお選びください。



	人数
①	14
②	7
③	14
④	2
⑤	25
⑥	4

- ①長銀、日債銀の一時国有化に代表される金融危機
- ②退職給付会計の導入
- ③時価主義の導入
- ④代行返上
- ⑤超低金利の定着
- ⑥その他

Q2 いま企業年金の資産運用のあり方を見直すとしたら、考慮すべき外的要因として、次のどれが重要だとお考えでしょうか。
一番重要と思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	10
②	9
③	12
④	29
⑤	6

- ①成熟度の高まりと給付額の増加
- ②低下した積立水準
- ③母体企業の厳しい経営環境
- ④経済・金融環境の構造的変化